学級活動　《第１学年》年間指導計画

担当（河村俊輔・和田祥子）

特別活動　目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

〔学級活動　目標〕

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成し，役割を分担して協力して実践したり，学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに，自主的，実践的に取り組むことを通して，特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

〔生徒会活動〕

異年齢の生徒同士で協力し，学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて，計画を立て役割を分担し，協力して運営することに自主的，実践的に取り組むことを通して，特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

〔学校行事〕

全校又は学年の生徒で協力し，よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して，集団への所属感や連帯感を深め，公共の精神を養いながら，特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

月	議題名・題材名	ね　ら　い	活 動 内 容	指導・助言、資料
４	中学生としての自覚をもつ 学年目標、学級目標 個人目標 自己紹介 学級組織作り	新しいことに意欲的に取り組む態度を身に付ける。 何事にも集中して真剣に取り組む。 集団の中で自分の役割を理解する。	作文「中学生になって」を書く。 学年目標、学級目標を決める。 個人の学習・生活目標をたてる。 自己紹介をする。 委員会・教科係など組織作りをする。	どんなことに対しても失敗を恐れず、前向きに取り組む姿勢や態度を育てる。 互いを知ろうとする雰囲気をつくり、コミュニケーションを図る。
	学校生活のきまり 学習習慣を身につける 安全指導	学校生活の決まりを確認する。 自分にあう学習方法を模索する。 非常時の安全確保について理解する。	学年全体で生活のきまりについて確認し合うことで共通理解する。 一つ一つの授業を大切に取り組む。 避難経路と行動の仕方を確認する	具体的な事例をあげながら考える。 自分の課題を把握し、毎日の家庭学習習慣を身に付けさせる。
	生徒総会議案書審議 フレンドシップスクールにむけて 図書室利用の仕方	生徒会活動へ積極的に参加する意識を持つ。 フレンドシップスクールの目的を理解し、主体的に取り組む。 図書室利用ガイダンス	議案書を基に意見や質問を出し、クラスの意見をまとめる。 班や係決め、ルール作り。 学校図書司書からのお話を聴く。	進行は学級委員・各委員によって行う 実行委員を中心に取り組み、学年全体の意識を高める。 図書室の正しい使い方を知り、日々の生活に活用できるようにする。（国語科と連携し、実施）

5	中間考査にむけて 体育祭にむけて フレンドシップスクール フレンドシップスクールを振り返って	学習計画、実行について振り返る。 はじめての体育祭に向けて意識をもつ。各競技や練習の取り組み、係の仕事について理解する。 集団の中での役割を意識し、協力体制を確立する。	学習について計画と実行を記入させ、各自振り返りを行う。 スローガンへの意見をだしあう。練習予定や学年種目、係の仕事について確認する。 作文「フレンドシップスクール」を書く。	今後の学習に生かすよう助言し、学習意欲を高める。 各個人の取り組みを通して、学級・学年・学校としてのまとまりをつくる。 反省をもとに学校生活に活かす事柄を出させる。
6	体育祭を振り返って 期末考査にむけて	集団生活を有意義に送ろうとする意識をもつ これまでの学習をふりかえり、学習計画を見直す	作文「体育祭を終えて」を書く。 考査にむけた学習の進め方	自己の取り組みとともに協力できたか考えさせる。 自分に合った学習の方法を考え、工夫させる。
7	１学期の反省 （個人・クラス・学年）	個人およびクラスの１学期の生活について振り替える	個人目標やクラス目標をもとに１学期の反省をする 学級委員が中心となってクラス全体の反省を行い、反省をまとめて学年集会で発表し合う。	各自振り返り、１学期の反省をさせ、２学期に繋げる。
8	進路指導「身近な方の職業調べ」	自らの進路について具体的に考える姿勢を養う。	夏季休業中に身近な人への職業調べを行う。	インタビューした内容を１枚にまとめる。
9	夏休みをふりかえって ２学期の抱負 合唱コンクール分担決め 「身近な方の職業調べ」学級発表会 後期の学級組織づくり	夏休みの生活を振り返り、目標をもって２学期をスタートする。 集団の中での自分の役割を意識する。 自らの進路について具体的に考える姿勢を養う。 集団の中での各自の役割を意識する。	夏休みのしおりを完成する ２学期の目標を記入し、掲示する。 指揮者、パートリーダー等を決める。 夏季休業中に身近な人への職業調べを行ったまとめを発表し合い、共有する。 後期委員会・教科係・学級の係決め	新たな気持ちで新学期を迎えられるように助言する。 協力体制がはかれるよう、助言する。 互いに分かり易く発表できるよう指導する。 人間関係を配慮しながら、組織作りをさせる。
10	合唱コンクールにむけて 「身近な方の職業調べ」学年発表会	集団の団結力を高める。 自らの進路について具体的に考える姿勢を養う。	合唱練習の工夫、合唱について意見を出しながら自分たちで活動を考えて取り組む。 夏季休業中に身近な人への職業調べを行ったまとめを発表し合い、共有する。	お互いが関わり合って、練習していく雰囲気を作るよう、助言する。

11	校外学習に向けて クラスの課題 期末考査にむけて 「食育」	班単位の活動のあり方、規律を学ぶ。 クラスの長所・短所を検討し、より有意義な生活を送れるようにする これまでの学習を振り返り、より充実した学習を考えさせる 食と健康について関心をもつ。	行動計画を見直し、改善点を見つける。 クラスの長所・短所をあげ、どのような対策ができるのかを話し合う。 これまでの学習の進め方を見直し、自分にあった計画をたてる。 体験をしながら講話を聞く。	公衆マナーや集団のルールを守ることの大切さを指導する。 学習・生活両面から考えさせる。 仲間の学習方法の工夫点などを具体的に紹介したりする。 活動とまとめをきちんと行わせる。
12	期末考査の反省 ２学期の反省 （個人・クラス・学年）	これまでの学習姿勢を検討し、冬休みを含めた学習計画を考える。 個人およびクラスの２学期の生活について振りかえる。	これまでの学習を見直し、今後の計画をたてる 個人目標やクラス目標をもとに２学期の反省をする 学級委員を中心に各クラスの反省をまとめて発表する	先の見通しをもてるように助言する。 ２学期の反省をさせて、３学期に繋げる。
1	冬休みをふりかえって ３学期の抱負 校外学習	冬休みの生活を振り返り、３学期がスタートできるようにする。 班行動を通し、規律や公衆マナーなどを学ぶ。	冬休みのしおりを完成する。 ３学期の目標を記入し、掲示する。 事前に計画したコースで実際に鎌倉の町に赴き、歴史や文化を学ぶ。	新たな気持ちで新学期を迎えられるように助言する。 安全に公衆マナーなどを守った行動を意識させる。
2	学年末考査にむけて	１年間のまとめとして、より充実した学習を考える。	自分の学習課題を見つける。	計画の立て方を工夫させる。
3	卒業式にむけて ３学期の反省 （個人・クラス・学年）	上級生の取り組みから、杉森中をどのようにより良くするための方策を考える。 個人およびクラスの３学期の生活について振りかえる。	卒業生にむけてのメッセージや、上級生となるために自分に何が必要かを考える。 個人目標やクラス目標をもとに３学期の反省を行う。	丁寧に心を込めて贈ることばを書かせる。 ３学期の反省をさせ、１年間のまとめをさせる。